検索上位表示のための心強いあなたのパートナー

ありえない
リンクサービス。

最大300個のバックリンクが無料で受け取れる

IP分散、ドメイン分散された最大300サイトから、
あなたのサイトへ無料でリンクさせていただきます。

●はじめに

この度は相互リンク企画参加マニュアルをダウンロード頂き、ありがとうございます。

この企画はマニュアルに沿って簡単な作業を行なっていただき、企画に参加いただけることによって弊社及びメンバーのサイトから最大 300 のバックリンクを受けられるという無料のサービスです。

参加していただくことによって IP 分散されたそれぞれの異なったドメインからバックリンクを無料で得られる形となっておりますので昨今の相互リンクを受けにくい状況とご自身でこの環境を作り出すことが費用対効果を考えると難しいことから企画に参加しない理由はないように考えられます。

もし、この相互リンク企画について
「自分にとって不利な状況が生まれないだろうか・・・」
と御不安に思われるのでしたらこのマニュアルの巻末に記載させていただいております

【スパム発動のメカニズム】というレポートをご覧下さい。

またあまりにも申し込みが殺到してしまった場合は応募を打ち切りますのでなるべくお早めに企画に参加いただけましたら幸いです。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

※企画に参加いただくには 22P-26P の確認事項を必ずお読み下さい。

企画に参加された場合、確認事項に同意いただいたものとさせていただきます。

では早速、参加方法をお伝えします。

ウェブフォース株式会社

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

●企画に参加いただくための作業

相互リンクしていただく方法をご説明します。
作業していただくのは大きく分けると３種類です。

作業１．トップページに指定のリンク集コードを貼る

作業２．リンク集の専用ページを５ページ作成する

作業３．参加申請フォームから申請する

という作業のみになります。あらかじめ、こちらでHTMLコードを用意してありますので、非常に簡単に相互リンクが完成できるようになっています。

まずはご自身で被リンクサービスを受ける予定のサイトページのURLとキーワードを準備下さい。

サービスについては一人当たりのページ数に上限はありませんので予めメモ帳などにご用意していただくと便利です。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

例（メモ帳などに予め企画に参加させるサイトとキーワードを入力しておきましょう。）

http://●●●.net/●●●.html

○○○　←上記のサイトページのキーワード

http://●●●.biz/●●●.html

○○○

http://●●●.jp/●●●.html

○○○

※アダルトフィルターにかかるようなサイトは企画に参加出来ませんので予めご注意下さい。

年齢制限があるものや公序良俗に反するサイト、反社会的なサイトはお断りしています。

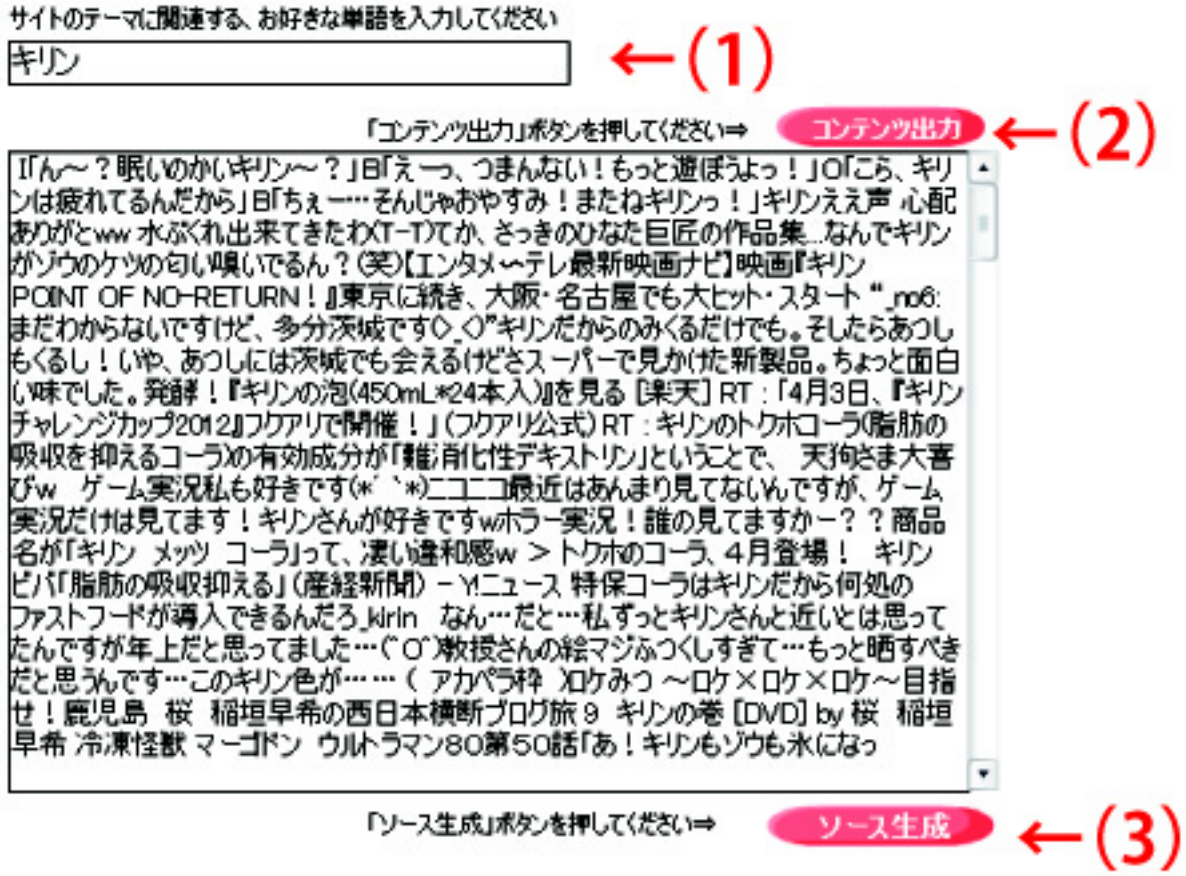
例：18歳未満　アダルト関連　酒　煙草　など
→こちらで独自の審査基準がありますのでそれに該当するものは企画に参加いただけませんので予めご了承下さい。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

準備ができましたらこちらのURLにアクセスして「リンクコード」サイトを開いてください。

※ブラウザは各種最新バージョンでお使い下さい。
※ファイヤーフォックスは不具合が出るので使わないでください。

http://sogo-links.net/linkofa01.html



Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

サイトが表示されたら下記の作業をお願いいたします。

(1) サイトに関するキーワードを入れてください。

(2) コンテンツ出力ボタンをクリックしてください。

(3) ソース生成のボタンをクリックしてください。

※コンテンツ出力を押しても記事が表示されない場合はキーワードを変更するかサイトに関連する単語を再度入力してください。

記事が表示されるのに若干時間がかかる場合があります。
15秒ほど待って表示されない場合は単語を変更してください。

アダルトフィルターにかかるような単語はこちらでももちろんNGです。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

（3）のソース生成ボタンをクリックするとその下の各ウインドウにHTMLソースが表示されます。

※サイトを閉じてしまうとソースが消えてしまうので作業中はサイトを閉じないようお願いいたします。

トップページに貼り付けるソース

```
<a href="http://sogo-links.net/" target="_blank">相互リンク.net</a> <a
href="tgh16.html">16</a>  <a href="tgh17.html">17</a>  <a
href="tgh18.html">18</a>  <a href="tgh19.html">19</a>  <a
href="tgh20.html">20</a>  
```

クリップボードにコピーする

tgh16.html で保存しトップページと同じ階層にアップロードしてください

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
```

クリップボードにコピーする

tgh17.html で保存しトップページと同じ階層にアップロードしてください

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
```

クリップボードにコピーする

tgh18.html で保存しトップページと同じ階層にアップロードしてください

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
```

クリップボードにコピーする

tgh19.html で保存しトップページと同じ階層にアップロードしてください

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
```

クリップボードにコピーする

tgh20.html で保存しトップページと同じ階層にアップロードしてください

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
```

クリップボードにコピーする

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

このページに書かれてあるコードを使用して作業を行います。ここでは6のセクションに分かれています。具体的には下記のようになります。

・トップページに貼りつけるソース
・リンク集ページ21（tgh21.html）のソース
・リンク集ページ22（tgh22.html）のソース
・リンク集ページ23（tgh23. html）のソース
・リンク集ページ24（tgh24.html）のソース
・リンク集ページ25（tgh25.html）のソース

URLについては後述します。

それでは、実際にリンクを貼る方法を説明していきます。

リンクコードを貼るにはHTMLを直接修正する必要があります。このため、ホームページ作成ソフトを使用してコードを貼り付ける方法とHTMLを直接修正する方法が考えられます。作業し易い方法で行ってください。

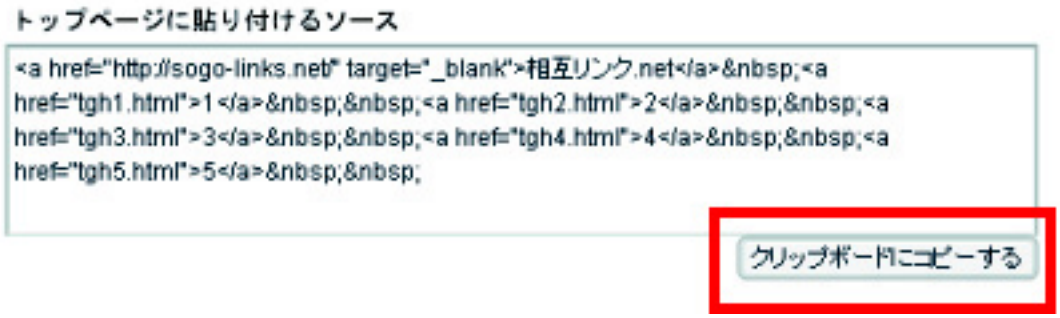
ここでは、ホームページ作成ソフトを使用したものとしてご説明します。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

●作業１

■ トップページに指定のリンクコードを貼る

1.　　ページの一番上にある「トップページに貼り付けるソース」を見てください。



2.　　「クリップボードにコピーする」ボタンを押します。
※サイトを閉じないで下さい。書き出されたソースが消えています。

３．　コピーされた内容をご自分のサイトのトップページに貼り付けます。ホームページ作成ソフトでトップページを開いてください

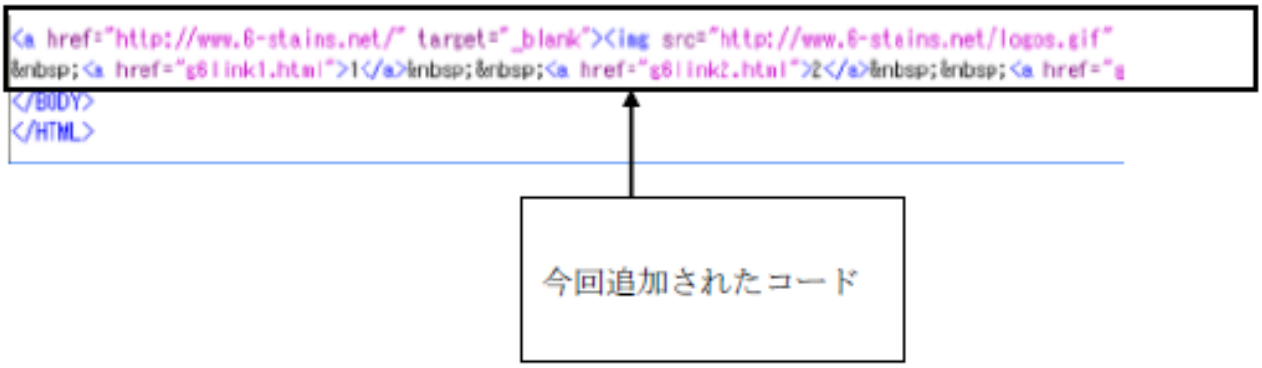
４．　HTMLソースが編集できる画面を開いてください。

5.　　先ほどコピーしたコードをトップページに貼っていただきます。貼り付ける位置は、どこでも構いません。サイトの雰囲気を壊さないようにするには一番下に貼るのがベストだと思います。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

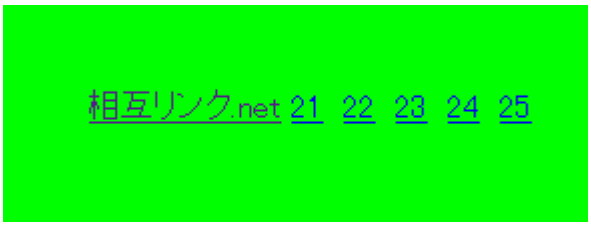
6.　一番下に貼るためには下図のように＜/BODY＞タグの直前にカーソルを持ってきてください。

7.　ペーストしてください。下図のようにコードが貼られたと思いますので、このページを保存してください。



Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

８．実際にトップページを確認して、下のようなリンクが貼られていれば完成です。



※分かりやすく背景に色を付けています。

●作業２

■ リンク集の専用ページを5ページ作成する

次にまず、マニュアルと共に添付されている

（1） **tgh21html～tgh25.html**全てをホームページ作成ソフトで開いてください。

まずtgh21.htmlを編集します。

先ほど使用したリンク集作成ページを見てください。

下のように「tgh21.htmlで保存し・・・」という部分を見てください。

↓

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

tgh16.html で保存しトップページと同じ階層にアップロードしてください

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
```

クリップボードにコピーする

(2) 「クリップボードにコピーする」ボタンを押します。
(3) tgh21.htmlにソースを貼り付けます。

tgh16.html | tgh17.html | tgh18.html | tgh19.html | tgh20.html

コード | 分割 | デザイン | タイトル：イルカのつぶやき広場11

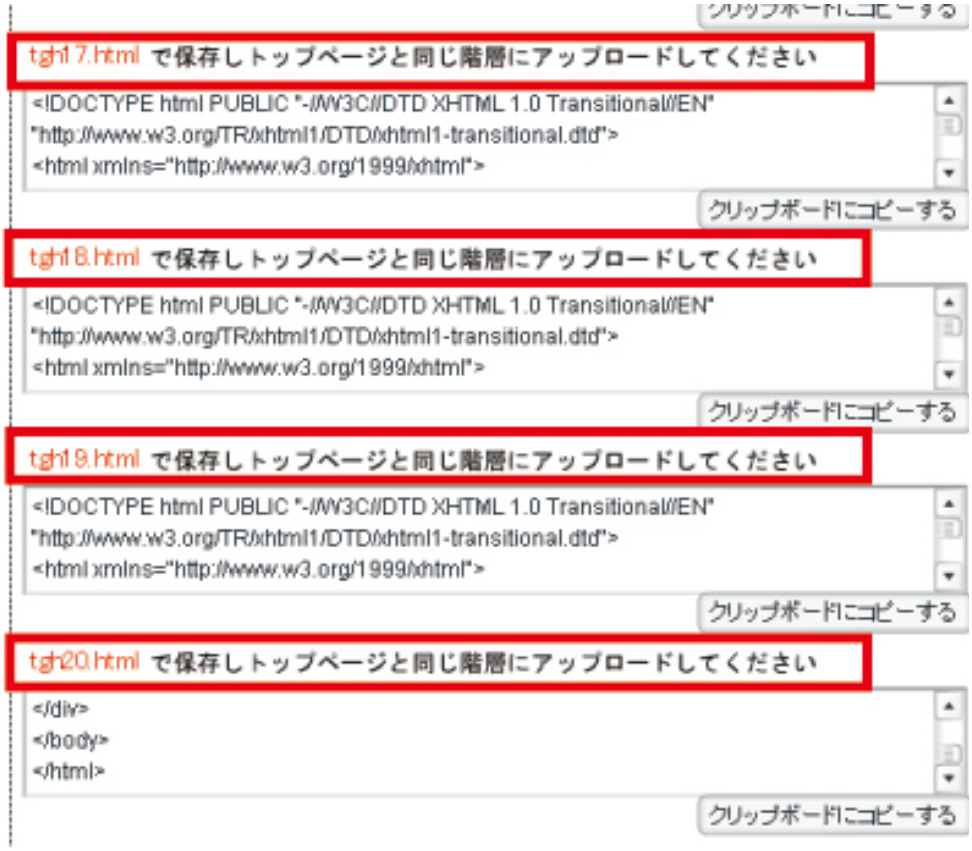
```
1  <!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transi
   >
2  <html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
3  <head>
4  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html;
5  <title>イルカのつぶやき広場１１</title>
6  <style type="text/css">
7  <!--
8  .body{
9      min-width: 750px;
10     text-align: center; /* center on ie */
11     font-family:"ＭＳ ゴシック", "Osaka－等幅";
12     margin: 0px;
13     padding: 0;
14     font-size: 0.8em;
15     color: #333;
16     line-height: 1.5;
17 }
18 .container{
19     position: relative;
20     width: 750px;
21     margin: 0 auto;
22     text-align: left;
23     background-color:#FFFFFF;
24 }
25 .column01 p{
26     width:45%;
27     float:left;
28     padding:10px 30px 15px 30px;
29     border:#CCCCCC dotted 5px;
30 }
31 h1{
32     padding-left:20px;
33     background:#EDE0E4;
34     border-left:#999999 solid 15px;
```

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

(4) ファイルを保存します。

(5)同様の作業をtgh●.htmlそれぞれに対応したソースを貼り付けて保存します。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.



各ページごとに内容が異なるので注意してください。

クリップボードにコピー
↓
対応したファイルにソースを貼り付け(tgh22で保存し・・・ならばtgh22.htmlにソースを貼り付ける)

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

↓
保存する（ファイル名は変えないで下さい。）
この繰り返しで5ファイルの編集をして下さい。

(5)FTPソフトで転送

以上でリンク集の設置作業が完成しました。この後はFTPソフトを使用してサーバーにアップロードしてください。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

アップロードするファイルは11つです。

アップロードする際に下記のファイルがマニュアルの通り、
編集がされているか必ず確認してください。

index.html ※トップページを別の名前にしてる場合は違う名前になります。
tgh21.html
tgh22.html
tgh23.html
tgh24.html
tgh25.html

転送する場所は、必ず全てトップページと同じ階層にアップロードしてください。（同じディレクトリ内）

作業１でトップページに下のようなリンクが貼られましたが、この21-25までのリンクが作業２で作成した5個のリンク集ページになります。

相互リンク.net 21 22 23 24 25

このため、トップページと同じ位置にリンク集ページがない場合、

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

リンク切れを起こしてしまいます。

この企画に参加していただいたみなさんには大量のリンクが貼られますので検索エンジンからの評価がアップします。

このため、リンク切れによる検索エンジンからのマイナス評価だけは絶対に避けてください。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

●作業３

■ 参加申請フォームから申請する

さて、リンク集サイトの設置が終了したら、みなさんのサイトを申請する必要があります。フォームは以下のURLから行います。

相互リンク企画 申請フォーム

http://form.os7.biz/f/fb7574f7/

フォーム画面には以下のような入力項目がありますので正確に記入してエントリー作業を行ってください。

【相互リンク企画】申し込みフォーム

必要事項をご記入の上、送信ボタンをクリックしてください。

すぐに登録完了メールが届きます。
万が一、3分以内にメールが届かない場合は、
メールアドレスの入力ミスが考えられますので、
大変お手数ですが、再度入力をお願いします。

＊は必須入力です。

【相互リンク企画】申し込みフォーム	
お名前 ＊	
メールアドレス ＊	sasaki@web-force.biz
サイト名 ＊	
サイトURL ＊	
サイト紹介文	

送信

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

ただし、いくつかの注意点があります。以下の条件をよくお読みいただき、ご参加ください。

○ 申請する際の注意点

■ 申請は必ずリンク集の設置後にお願いします。

■ 複数サイトを申請する場合は、その都度フォームにて申請してください。

■ 複数サイト申請の場合でも同じメルアドでお願いいたします。

■ 今後、相互リンクのお知らせはメルマガ上で行われるので必ず連絡の取れるメルアドでご登録ください。
（取得したメルアドについては相互リンク企画のお知らせ以外には利用しませんし、個人情報については厳正に管理いたします。）

■サイトの審査に関しては当方での独自の基準で審査いたします。特にアダルトフィルターに関わるサイトについては審査を行なわず、審査落ちとなります。

審査の合否に関しては特にご連絡は差し上げません
ご自身でバックリンクを調べるなどして確認をお願いいたします。

また合否に関してのお問い合わせは一切、お受けできませんのでご了承下さい。（無料で運営させていただくため、ご了承下さい。）

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

■マニュアルやサイト作成方法に関しての問い合わせには原則的に無料で行なうサービスですのでサポート等は受け付けていません。

マニュアルに沿って内容が理解でき、作業ができる方を基本的にサービスを提供させていただくものと考えてください。

■重要

特に注意していただきたいのは申請のタイミングです。必ずリンク集設置後にお願いします。

あなたのサイトをこちらが確認したときにリンク集が設置されていなければ、この企画には参加できません。

くれぐれもご注意ください。

■　その他まとめ（必ずご確認下さい）

このマニュアルの概要についてまとめました。

◆相互リンクまでの流れ

１．ソース提供ページで取得されたコードを利用してリンク集ページを作成しアップロードしてください。

２．参加申請フォームに必要事項を入力して送信していただきます。
参加申請フォームのURL
http://form.os7.biz/f/fb7574f7/

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

３．申請条件が満たされているかどうか審査します。
審査は申請先着順です。

４．審査終了後、条件が満たされるサイトは順次リンクを掲載していきます。

リンク掲載は１日に約60サイトを目安としています。これも先着順です。

参加申請の最後のほうの方はリンク掲載にお時間がかかることをご了承ください。

※審査結果やリンク掲載日時についてのお問い合わせにはお応えできません。

申請者各人でそれぞれのリンク掲載ページをご確認ください。

◆参加申請のための条件

・独自ドメインで運営するサイトであること。
今回、無料ブログや無料ホームページの企画参加はご遠慮願っています。

独自ドメインで運営されるサイトであれば形態は問いません。
・同一ドメインからの申請は１サイトまで。

サブドメイン違いでの申請はＯＫです。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

サブドメインとはURLの　“ｈｔｔｐ：／／”　のすぐ後の“ｗｗｗ”の部分です。

ここが“ｗｗｗ１”とか“ｂｌｏｇ”とか違っていれば、他の部分が同一でも申請はＯＫです。

・提供するソースを利用したページを巻末マニュアルにしたがって先にアップロードしていること。

専用のリンク集のHTMLのソースコードを提供しています。

このソースを利用しているサイト様のみ企画にご参加いただけます。ソースの利用方法は別途マニュアルをお読みください。

※提供するソースはダウンロードごとに記事の内容やリンク先サイトをランダムに入れ替えています。

これによって同一ページが多数存在するというスパム判定を回避します。ご安心してご利用いただければと思います。

・提供ソースを改竄していないこと。

タグの改竄は不可ですが掲載記事の文脈にご不満のある場合は記事内容に限って改竄ＯＫとなっています。

その際、くれぐれも文字数を減らさないようお気をつけください。
（文字数が減っている場合は審査が通らない場合があります）

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

・アダルトサイトおよび反社会的なサイト、ＭＬＭサイト、公序良俗に反するサイトではないこと。

その他、審査人が企画参加に不適当と認めるサイトも申請は却下させていただきます。（リンクを頂戴するには関係ないことですが、こちらからリンクを発することで他の企画参加者様に迷惑が及ぶ可能性を排除するためです）

この場合、他の申請サイトが条件をクリアしていても、申請すべてのサイトを却下いたします。

また審査基準に関して等のお問い合わせには応じることが出来ません。

・参加申請締め切りは特に設けません。

1,000サイトに達し次第、締め切らせていただきます。

相互リンク自体は参加申請の先着順にて毎日60サイトを目安に掲載していきます。

早めに申請いただくことが早めの相互リンクを達成することになります。

※審査通過による相互リンク締結以降であっても提供のソースの改竄や無掲載が確認されたときは即時に相互リンクを解消します。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

※相互リンク解除を望む場合のご連絡は無用です。提供ソースの掲載を外していただければ確認次第、締結解除とさせていただきます。
※相互リンクを早急に解消したい旨の事情が生じた場合はメールにてご連絡ください。即時解消に対応させていただきます。

応募規約（必ず同意の上、参加申請願います）
最後になりますが、応募申請に際しては以下の応募規約に同意いただいた上で願います。

応募規約は申請時点で同意いただいたものとみなします。

・本レポート企画はあくまで相互リンクの締結のみを謳う企画です。

・本レポート企画は参加されたサイト様のＳＥＯ効果を保証する企画ではありません。

・本レポート企画は参加されたサイト様のページランクを保証する企画ではありません。

・本レポート企画は私どもで用意したサイトのページランクも同様に保証するものではありません。

・スパムの定義は日々、流動していますので、本レポート企画が永遠にスパムに相当しないと保証するものではありません。

・参加サイト様もしくは参加サイトの管理人さまが本レポート企画によって、いかなる損害や被害を生じても、本レポート企画に関与

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

するサイト管理者各員にその責任はないものとします。

・本レポート企画への参加は、参加サイトを運営する管理者の責任にてお願いします。

以上の事項をご確認の上、申請いただいたサイトに関しては同意いただいたものとさせていただきます。

それでは、ご参加お待ちしています。これで、説明を終わります。ありがとうございました。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

特典レポート

「相互リンクがスパムとして発動するとき」

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

■ごあいさつ

この度は、レポートをダウンロードいただきありがとうございます。最近では様々なSEO手法が広く知れ渡り、初心者の方でもかなり高度な知識を持って、SEOを実践されているようです。

しかし、一部の研究者以外にとっては、今をもってSEO・・・、特にスパム判定という部分については迷信です。

なぜなら、世に出回るSEOノウハウで「サイトを上げる為の手法」というのは積極的に自分で実践してみたくなりますから、その効果のほどを自分で体感することができます。

一方、「これをやったらスパムになる」と言われている手法を自分で試す度胸のある人は中々いません。故にスパム判定の知識は主に他人の話を鵜呑みにするしかなくなるからです。

有料、無料にかかわらず、世に出回るSEOノウハウの多くは秀逸なものだと思いますが、中には悪質なものもあり、そこに書いてあることをそのまま鵜呑みにして実践したために、自分のサイトがスパム判定を受けてしまった・・・という話もよく耳にします。

しかし、そのことを指して「あぁ～！俺のサイトはスパム判定を受けたーっ！」と頭を抱えたり、「○○さんの言ったとおりにしたらサイトが吹っ飛んだ」などと恨み言を言うのは筋違いです。

裏技的な手法、誰でもカンタンに出来る手法というのは、検索エン

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

ジン側でフィルタリングして、それらをハジくことも容易であり、そんなことも予測せず、その手法に全てを賭けてしまうような姿勢がそもそも問題なのです。

SEOとは常に検索エンジンとのイタチごっこですから、どんな手法でも、いずれは陳腐化する可能性を秘めています。それはSEOの宿命ですので、仕方のない部分でもあります。

しかし、そんな中にあって、そう簡単に廃れないSEO手法というものもいくつか存在します。それらに共通するものを簡単に言うならば「面倒くさいこと」ということになります。

誰しも「面倒くさいこと」というのは嫌なものです。しかし、その部分こそがライバルと差をつけるのに有効な部分であることも事実です。

本レポートは、そんな面倒くさいSEO手法の代表格「相互リンク」が、どんな場合にスパム判定を受けるのか・・・という部分にフォーカスしてお伝えしています。

また、併せて、その面倒くさい相互リンクを、できるだけ面倒臭くなく、安全かつ大量に行える方法もご案内したいと思います。

あなたがSEOを実践するうえで、本レポートが何かの参考になれば幸いです。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

■相互リンクを頑張ると墓穴を掘る！？

「闇雲に相互リンクするのは危険です」
「相互リンクに頼るSEOの時代は終わった！？」
「相互リンクを頑張れば頑張るほど、それは墓穴を掘る行為！」

とても衝撃的なキャッチコピーです。

いったい誰が言い出したのでしょう？

ところで、このコピーの真偽ですが、部分的な意味では正解です。だからと言って額面どおりに受け取ってはいけません。

実際には相互リンクは今も昔もSEOの基本手法であることには変わりありませんし、その効果も絶大なものがあります。

だからといって何も考えずに手当たり次第、相互リンクを行っていてはあなたのサイトがいつ危険な目にさらされるとも限りません。

冒頭のキャッチコピーは正しい認識にしたがって相互リンク手法がなされない場合の警鐘と心得ていただければ問題ないと思います。

相互リンク手法自体が無効果でもなければ危険でもないということをご理解ください。

でも、そうなると、あなたが知りたいのは具体的にどういう相互リンクが危険なのか？そして「正しい相互リンク手法」の詳細ということになりますよね？

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

ご安心ください。我々「相互リンク同盟」が得た情報と研究成果をたっぷりと書かせていただきます。

効果的なSEOを模索されているあなたには是非とも最後までお読みくださっていただければとおもいます。

このレポートでは相互リンクのSEO手法としての影響力がどのように変遷しているかを出来るだけ具体的に考察するものです。

■闇雲に相互リンクすると危険なのか？

ハッキリ言います。「危険」です。
では何が危険なのかをここで書きましょう。
具体的にはアダルトサイトやギャンブルサイトなど、反社会的な公序良俗に反するサイトです。

問題は何を以ってアダルトサイトと定義するか？です。

これは一般的にＮＧワードの使用頻度と組合せ使用といわれています。

有名なのは「18歳未満」というワードです。
「18歳未満」で検索するとYAHOO!が１位だったのは、あなたも耳にしたことがおありでしょう。

「18歳未満」というワードをページに記述していないYAHOO!のトップページが１位なのは多くのアダルトサイトが年齢認証時に使用するボタンバナーのリンク先にYAHOO!のトップページを設定していたからだといわれています。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

もちろん、それが大きな原因であることに異存はありません。

ですがもうひとつの大きな原因として、「18歳未満」を掲出する多くのページがアダルトフィルターに引っかかり順位を落としているということです。

ライバルがほとんどすべてフィルタに引っかかっているのですから相対的にYAHOO!が押し出される形でトップに躍り出てしまったというのも１つの原因なんです。

さて、ここで重要なのはアダルトサイトでなくても「18歳未満」というワードを使用するとフィルタに引っかかる可能性があるということです。

たとえばある商品の月賦販売に際して「18歳未満の方は親の承諾を必要とします」と記した場合です。

もちろん、これだけでフィルタに引っかかるものではありません。ですが商品説明文に「乳首の黒ずみを抑えてピンク色に！」なんて書かれていた日には、ほぼ８割方フィルタが発動するでしょう。

その他にも商品を10個くらい並べてすべての注釈に「18歳未満の･･･」と記載した場合、これもほぼ確実にフィルタ対象となります。

あなたは、このサイトを目にしたときアダルトフィルタが発動していると見抜けますか？

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

アダルトフィルタが発動しているサイトから相互リンクの依頼が舞い込んだとききっちりと選別できる目を持っていますか？

■同じテーマのサイトとの相互リンクだけを考えるべきなのか？

先に書きましたように反社会的なテーマのサイトとの相互リンクは危険以外の何者でもありません。

だから同じテーマのサイトとだけ相互リンクを結ぶべきなんだ。
これがテーマ性を重要視する方たちの論旨です。

ではどこまでを同じテーマと考えればいいのでしょう？
サイトのテーマを人間の目視ではなくプログラムによって機械的に検索ロボットに判断させようとするとき必要になる技術が「セマンティックウェブ」と呼ばれるものです。

セマンティックウェブとはＷ３Ｃ（インターネットを仕切る大親分）が策定する技術です。

簡単にセマンティックウェブを解説しましょう。
「18歳未満」という言葉を１回だけ使用しているサイトはアダルトサイトの可能性はあるけど、アダルトサイトとは断定できません。

だけど「18歳未満」と「ピンク」、「乳首」が同時に、しかも位置の近い段落内に出現したときはほぼ限りなくアダルトサイトであると推測できます。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

このとき、該当するページのテーマを「アダルト」と断定しちゃいましょうって技術です。

現在はどういう言葉の組合せがどういうテーマに該当するか？というような統計をとっている状況ですが、実はその統計のためのソースサンプル取得のために検索エンジンが活躍しています。

でも、その技術の未熟さについては先程お話したとおりです。
話を元に戻しましょう。

同じテーマのサイトとの相互リンクを優先事項として考えるべきか？

将来に備えての対策ということであれば異存はありません。ですが現状では気にする必要はほとんどありません。

ましてや違うテーマのサイトと相互リンクを結んだからといってスパムが発動することはありません。

あなたのサイトタイトルにはサイトのテーマを現すワードが含まれているはずです。

そして近接するサイトの説明文には関連ワードがこれでもかと記載されているのではないですか？

現状のセマンティックウェブの技術度を考えればこれで充分です。
もちろん実際にテーマが揃っていれば今後とも効果が継続するのは間違いありませんし、効果の減少を憂うこともなくなります。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

ですがテーマが揃ったからといって相互リンクの効果がアップすることはありません。

この点を勘違いしている方が多いです。
相互リンク自体の効果は一緒なんです。少なくとも現時点ではね。

■圧倒的数量で一気にバックリンクするのは危険？

巷では「一気にバックリンクの本数が増えるのは危険！」なんて噂が飛び交っています。

これも部分的にはそういう現象も確認できているってだけにすぎないモノです。

通常であればバックリンクは「一気に増える」方が徐々に増えることに比べて何倍ものSEO効果を発揮しています。

特にGoogleではその効果が抜群ですね。
バックリンクが「一気に増える」ときはたいてい何かタイムリーな記事が該当のサイトに掲載されているものだ。というように検索エンジンは評価するのでしょう。

ただし、この場合の順位上昇は永続的なものではないことも報告を受けています。

一時的に上がった順位は程なく下降曲線を描くというものです。
それでも結果として落ち着く順位は、徐々にバックリンクを増やしたときと比べてより良い成果を上げているようです。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

巷で「危険」と叫ばれる方は、もしかしたらこの一時的順位アップの後の下降曲線を指しているのかもしれません。

確かに多くの場合、一時的にアップした後、順位は下がります。
でもね勘違いしないでください。
ジャンプアップした後、下がるんですよ。

現在の順位から下がるというわけではありません。

検索エンジンはもしかしたら「期待値」を評価しているのかもしれませんね。

ですから継続的にその後も大商いの取引を成立させれば評価はうなぎ上りになること間違いありません。このあたりはとても外資系企業的発想が見え隠れします。

しかしその後の大商いが成立しなかったからといって、以前に獲得した取引額が消滅したわけではありません。その分はちゃぁんと評価されているものです。

期待値としてのインセンティブ部分だけが失われるだけです。
さて、どうでしょう？

これでも「一気にバックリンクが増える」のは危険と考えますか？

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

■相互リンクに頼ってのSEOは効果がないのか？

そんなことはありません。効果は絶大です。

ですが相互リンク“だけ”に頼るSEOが効果を失いつつあるというのなら、まったくその通りです。

現在のSEOは単純なものではなくなってきました。

そもそも相互リンクの効果とは常に一定なわけではありません。
・効果の高い相互リンク
・効果の見込めない相互リンク
・危険な相互リンク

ひとくちに「相互リンク」といってもおおきく分けてこのように３つのタイプで成果に開きが存在しているのです。

そして相互リンクの効果測定が複雑になってきた理由として、
相互リンクの「パワーを発動する条件」として一方的なバックリンクの存在が重要視されていることが最新のSEO報告として上がってきています。

どんなに相互リンクの数が確認できようとも、それに比する一方的なバックリンクが存在しないことには「パワーが発動しない」という検証報告です。

つまり、相互リンク“だけ”に頼るSEOは確かに効果を失墜させています。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

ですが相互リンクのパワーの「発動条件」を満たせば、依然としてその効果は絶大なものとなっています。

だったら、最初っから一方的なバックリンクだけを集めれば良いんじゃないか？

という疑問が聞こえてきそうですが、、、

実は一方的なバックリンクも
・効果の高いバックリンク
・効果の低いバックリンク
・効果の見込めないバックリンク
このように３つに分類が出来るんです。

実は一方的なバックリンクばかりを集めれば･･･と考える多くの方が「自作自演」をアイディアし、実践するんです。

詳しい説明は避けますが自作自演でのバックリンクはほとんどの場合、効果が見込めないか効果の低いバックリンクとなります。

一時期「サテライトサイト」という言葉が流行りました。あなたもきっとご存知でしょう。

そして多くの方がサテライトサイトの量産による自作自演のバックリンクに挑戦しました。

その結果はどうでしょう？
「サテライトサイト」という言葉をめっきり耳にしなくなった現状

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

と併せて考えればここで論じるほどのものではありませんね。

要するにごくごく普通のサイトを運営するあなたが一方的なバックリンクのみでサイトを運営しようということ自体に無理が生じているんです。

結論を書いてしまいましょう。

相互リンク“だけ”でもSEO効果は得られません。
そして一方的な、ましてや自作自演ばかりのバックリンクでは尚更のことSEO効果は得られないのです。

必要なのは相乗効果です。
圧倒的な数量の相互リンクとそれに比する数のバックリンクが現在のSEOに効果を発揮しています。

■無料ブログとの相互リンクは効果が無い？

つい最近までブログは検索エンジンに強いと思われてきました。
事実、ブログがSERPの上位を席巻していましたから、誰しもがその威力に疑いを持ちませんでした。

ところが現在、多くのブログがこれまでの順位を失墜させています。
回復の見込みすら見いだせないようなダメージ。。

さてここでは無料ブログとの相互リンクについて書きたいと思います。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

ブログそのもののSEO効果については敢えて言及を割愛しますことをご容赦ください。

そして現状では検索エンジンが確実にブログと判断を下しているのは俗に言う「無料ブログ」です。

そもそもブログとは何なのでしょう？

ウェブログの略語であることは今では多くの方が知っています。
ウェブログ。すなわちウェブに書きとめられたものです。

メモ的に書きとめた記事を時系列やカテゴリ別、そしてタグやキーワードで分類・統計できるツールとして世に登場したのがウェブログです。

言い換えればニュースのネタ記事とでも言いましょうか。
これをWEB2.0的にコメントやトラックバック機能を付随させることでヴァイラル的なニュース伝播を期待されて登場したシステムなんですね。

簡単に言えばブログはニュース伝播というインターネットの世界では、常にオピニオンリーダー的なスタンスにいるということです。

ブログがニュース伝播のオピニオンリーダー的存在とすれば、あなたのサイトがブログで取り上げられてリンクが張られることには大いに意味があります。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

もちろん相当のSEO効果も期待できます。

ところが、トラックバックやコメントによるリンクがSEO的に機能しなくなったことは多くの方が知るところです。

本来、効果が期待できるはずのリンクなのにです。
その理由はアチコチで語られるようにSPAMという問題と無関係ではないでしょう。

そして最近になって、、
無料ブログとの相互リンクによるSEO的な効果も期待できなくなってきたとの検証報告がアチコチから上がってくるようになって来ました。

無料ブログからのコメントorトラックバック以外による一方的なバックリンクは現在でも充分に効果が期待できます。

しかし、相互リンクの効果が極端に薄くなってきたとの多くの検証報告が意味するものはやはりSPAM対策的な検索エンジン側の思惑によるものなのでしょうか？

あくまで推測的なものでしかありませんが、相互リンクの効果が期待できなくなっていることは事実として受け止める必要があるでしょう。

相互リンクの効果は期待できなくなりつつありますが、オピニオンリーダーとしての無料ブログのステータスが崩れているわけではあ

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

りません。

一方的にバックリンクを頂戴できる媒体として末永く付き合っていくことには何の不安も覚えませんし、是非とも推奨したいと思います。

先にも書きましたが相互リンクがそのパワーをいかんなく発揮させるためには相互リンクに比する本数の一方的バックリンクが必要なのです。

無料ブログからは一方的にバックリンクを得るだけにとどめて、これからの相互リンクは無料ブログ以外のサイトと行うほうが得策であると提言します。

■一気に大量に！相互リンク大放出企画

希望の光「ノアの箱舟」

なんか夢も希望もなくなるような話を長々と書いてしまいました。タダでさえ面倒くさい相互リンクなのに、さらに危険度のチェックだなんて･･･

とてもじゃないけど「ためいき」しか出てこなくなってしまいそうです。そこで！！

ここまでレポートをお読みいただいたあなたに１つの提案をさせていただきます。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

検索上位表示のための心強いあなたのパートナー

最大300個のバックリンクが無料で受け取れる

そうですタイトルの通り、一気に、そして大量に相互リンクを獲得していただく企画への無料参加権利です。

あなたのサイトとの相互リンクを締結するために用意したサイトの数はなんとおよそ300 サイト！

あなたは私どもから提供するhtmlソースをページにしてアップロードするだけです。

作業にして僅か５～６分でしょう。
その結果、最大で約300サイトと相互リンクが出来ます。
もちろんすべて違うドメインのサイトです。

つまり200サイトと一気に相互リンクを結べるというものです。
ただし、その箱舟に乗れるのは僅かに1,000サイトです。

1,000サイトなんてかたいことを言わずにスパムが発動するギリギリまで乗船スペースを設けてくれって言われるかもしれません。

たしかに我々はギリギリの発動ラインを測定すべく日々検証を行っています。ですがその危険と背中合わせの実験にあなたを巻き込むわけには行きません。

実際1,000サイトという枠にはまだまだ余裕があります。
リンクファームなどの懸念は不要です。

それでもこの限定枠を厳守する企図をご理解いただければ幸いです。
今回の募集は限定1,000サイトです。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.

1,000サイトに達し次第募集を締め切らせていただきます。
是非、早めの応募をお願いします。

Copyright (C) 2012 ウェブフォース株式会社 All Rights Reserved.